

地域での取り組み

地域で行われた取り組みを紹介するコーナーです。

■加島衣料販売会

11月14日(木)加島文化センターで衣料販売会が開催されました。高齢者が歩いて行ける商店が少ないことに困っていた加島地域で買い物支援事業の一環としてふれあい喫茶とのコラボで始まった衣料販売会。今回もたくさんの方々が賑わいました。



■三津屋音楽祭

11月4日(月祝)に開催された三津屋音楽祭。三津屋商店街を中心に、9会場多彩な演奏団体が出演、地域団体の飲食コーナーや交流亭マルシェなど観客が歩きながら楽しめる音楽祭です。観客と演奏者の距離が近く、会場では皆さん一体となって音楽を楽しんでいました。



■「防災まちカフェ@神津」

神津小学校で11月29日(金)『防災まちカフェ@神津』が開催されました。講師のかもんまゆさんから、淀川区で起こり得る災害への備え、災害発生時や避難所で起こった事等がリアルに伝えられました。参加者の皆さんから「災害時の実体験を聞く事ができ、いろいろ考えさせられた」と好評でした。



■東三国避難所開設&防災訓練

12月1日(日)東三国地域では、避難所開設訓練と防災訓練を実施。「地域の避難所は地域で考えよう」と、避難所運営に必要なものや起こる事象をみんなで考え、取り組みました。避難所運営における様々な課題が見え、訓練を続ける必要性を実感しました。



■「ここから100」でXmasパーティー!

12月24日(火)、八条にあるNPO法人「ここから100」で、高齢者、子どもたちとそのお母さん、外国人の方々・企業が参加するXmasイベントが開催されました。「ここから100」では、防災啓発をキーワードに、高齢者・子どもたち・外国人がつながることが災害時の共助の土台となるとして、そうした場づくり活動を行っています。この日も、クリスマスを楽しみながら、新しいつながりの輪ができていました。



令和元年度 「大阪市淀川区地域課題すっきり解決活動支援事業補助金」事業

■木川地域 寿里苑ラピスと合同で『ふれあい喫茶』

11月28日(木)寿里苑ラピスで、2回目となる木川地域との『合同ふれあい喫茶』が開催されました。前回は上回る方が来場し、地域が厨房、寿里苑がフロアと役割分担も完璧!会場では、たこ焼きや白玉ぜんざいに舌鼓を打ちながら、皆さんにこやかに話されていました。前回「阪急の踏切が渡れず地域の喫茶に行けない…」とおっしゃっていたご夫婦や、入所者の方と久々に過ごされた方のお姿も。地域の新しい居場所として続けたいな…と感じました。



地域が厨房、寿里苑がフロアと役割分担も完璧!

■神津地域のハロウィンイベント

神津子ども会と十三元今里商店街が、10月27日(火)ハロウィンイベントでコラボ。商店街では屋台出店や特設ステージが生まれ、住みます芸人『職人』の漫才やアカペラ、北野高校コーラス部や軽音部の演奏で盛り上がりました。18時頃から子ども会員の仮装パレードが商店街を練り歩き、買い物客からも「かわいい!」と声があがりました。お菓子配りには北野高校の生徒も参加。地域と若者の繋がりも感じました。



淀川区まちづくりセンター

〒532-8501 大阪市淀川区十三東 2-3-3 淀川区役所 4階
TEL 06-6309-5656 FAX06-6309-5657
mail yodogawa-machikyuu@festa.ocn.ne.jp
HP <https://yodomachi-new.jimdofree.com/>
Facebook <https://www.facebook.com/ymachisen>

本号入稿作業をすすめている今日は、25年前阪神・淡路大震災がおこった1月17日です。朝のニュースで当時の様子が何度も流れ、激しい揺れと恐怖しさを思い出しました。日常のあたりさしで、つい忘れてしまいがちですが、語り継ぐこと、そして災害に備えることの大切さを改めて感じています。(優)

令和 VOL26 2020年1月

淀川まちセン通信



淀川まちセン通信は、淀川区の地域活動協議会に関する情報発信、淀川区まちづくりセンターの活動紹介、多様な地域資源の紹介を目的に発行しています。

よどまち未来セッション

みんなで考える 防災連携

～地域と企業・NPO・学校等の交流会～



地域と淀川区で活動する事業所(企業、NPO、学校等)が、災害時の行動や防災の取り組みなどを一緒に考え、お互いの情報を共有しながら地域連携・協働を図り、地域防災に向けた取組みを広げていくことを目的にした交流会を実施しました。

当日は、日本防災士機構認証防災士の出水季治氏を講師に招き、57名の参加者がグループごとに意見交換を行いました。

- 実施日時: 令和元年10月11日(金)19:00~21:00
- 実施場所: 淀川区役所 501・502 会議室
- 参加者: 57名
- 内容
 - ①防災士 出水季治氏による防災講演会
 - ②グループワークショップ
あなたの「強み」「弱み」を教えてください

強み

- ・福祉施設なので24時間スタッフが居る
- ・ある程度の備蓄が確保されている
- ・看護師が居るのでケガの手当てなどができる
- ・20代~40代のスタッフが居る
- ・お寺なので避難所として本堂などを開放できる
- ・専門学校生徒の力を活かせる

弱み

- ・学生数に対する職員が少ない
- ・学生が帰宅困難になる
- ・施設が川の側にあり心配
- ・防災訓練で病院との連携ができていない
- ・施設利用者の安否が心配
- ・他との連絡をとる手段が無い

参加者のご意見

- ・他の事業や地域での活動なども理解できました。連携を今後どうしていくかということを考えていくことが重要である。
- ・それぞれの分野の方がいらっしゃって心強い感じがしました。準備をすれば活用してくれる人がいる。
- ・看護医療に携わる方が地域に多数おられ、連携が取ればお互いにメリットが大きいと感じました。

まちセンより
今回の未来セッションは、過去最多の参加者数でした。皆さんが、毎年おこる想定外の災害に対して、大きな危機感を持っている表れだと感じました。地域と企業、福祉事業所、学校との連携は、よどまち未来セッションの大きなテーマです。これからも、このテーマにしっかり取り組みたいと思います



地域と企業との連携についてアンケート結果報告 ~その1~

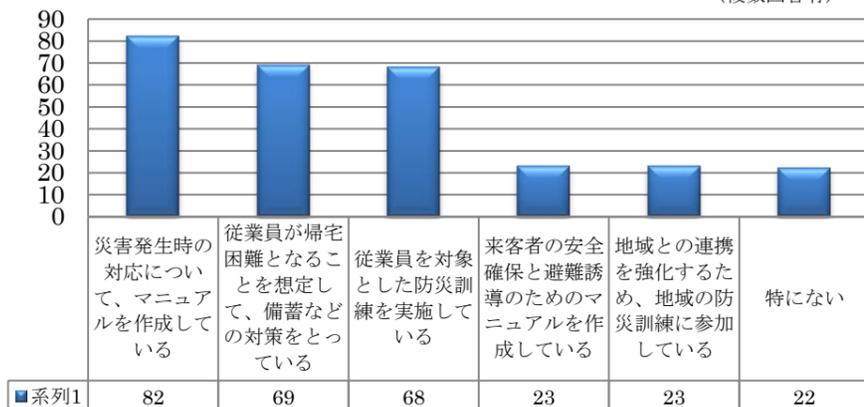
今年度、淀川区まちづくりセンターでは、地域と淀川区にある事業所（企業、NPO、福祉施設、専門学校等）との連携に関するアンケートをとりました。アンケート結果から事業所等が地域との連携、防災対策などを真剣に考えていることがうかがえました。

今回は特に防災面と地域連携についてのアンケート結果をご報告いたします。



● 地域では、地域の防災力をあげるために、さまざまな防災の取り組みを始めています。貴事業所では災害発生に備えて、どのような取り組みをされていますか。

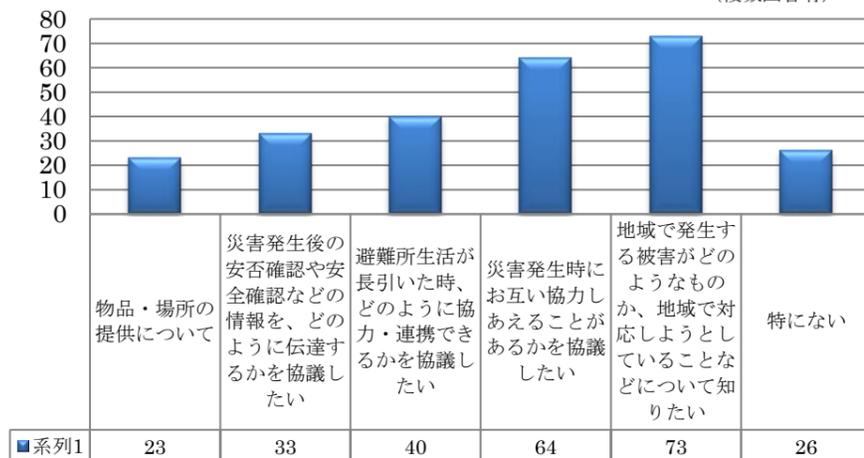
(複数回答有)



- ・災害発生時、場所提供をしたいが、どのようにしたらいいか知りたい
- ・マニュアル等はないが要望があれば対応できる。
- ・総務省防災マニュアル、大阪市防災マニュアルを基本にしています
- ・当社ビルは津波発生時における避難ビルに指定されている
- ・避難訓練
- ・父子連携、大阪透析医会と連携
- ・定期的に防災の勉強会を企画・実施

● 防災に関して貴事業所が地域と協議・連携したいことは何ですか。

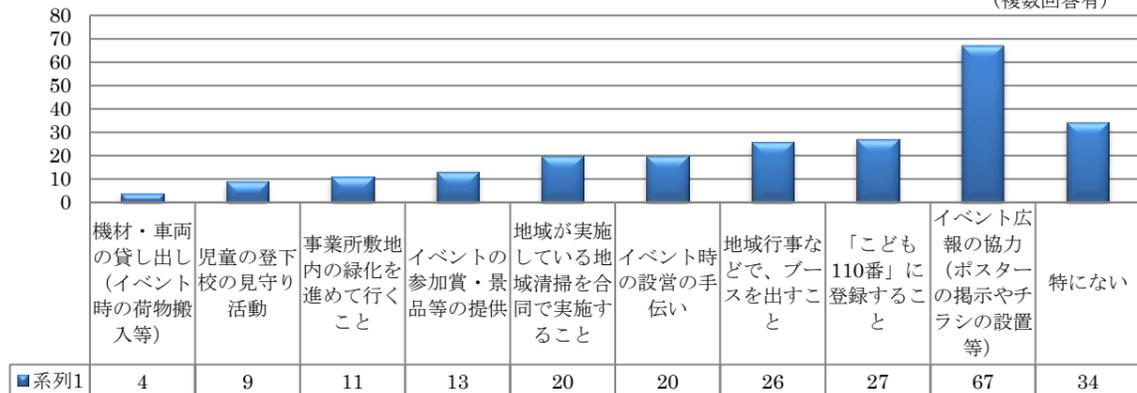
(複数回答有)



- アンケート実施期間：令和元年7月18日～8月20日
- アンケート送付先：淀川区内の企業、医療・福祉施設、NPO、郵便局、専門学校等 268社
- アンケート回収：145社

● 貴事業所として、今後さらに地域と連携することができるとお考えのことは何ですか

(複数回答有)



新高地域 マンション防災イベント開催!

10月27日（日）、新高地域のマンションパークスクエア北大阪で『第2回防災イベント』が開催されました。

今回のテーマは「小学校へ避難体験」。学校への避難経路の確認や無線機体験、車椅子での避難

のほか、うどん作り、段ボール避難ベッド作り体験、熱電発電のしくみについての講演会、自衛隊によるパネル展示など、盛りだくさんのプログラム。みんなで作ったうどんやアルファ化米のお昼ご飯の後は、AED講習や消火器体験、緊急車両見学をしました。

今回は一つのマンション町会の防災訓練ですが、連携やコミュニケーション作りが大切との観点から町会、地域を越えて参加を呼びかけられ、地域外から参加された方もいらっしゃいました。地域を越えて、みんなが助け合えるつながりの輪が新しくできたことを感じるイベントでした。



みんなでうどん作り!



まちセンも脱出ゲームを開催!

被災地支援 できることから始めよう! ~チームみつやの取り組み~

台風19号の被災地復旧支援として、熊本地震など各地で支援活動を行う災害支援ネットワーク「チームみつや」の5名が、11月2日～3日、ボランティア活動を行いました。

長野市災害ボランティアセンターを拠点に、個人宅の泥撤去、畑のごみ拾い、ごみ収集場での分別作業などを実施。活動された皆さんは、出来ること、伝えられることで支援活動を継続し、大阪で万が一災害が発生した場合は、この知識と経験を活用したいとのこと。いざという時、このような有志の方々がいらっしゃることに心強さを感じます。



三津屋小学校で防災教育授業!

10月30日(水)、三津屋小学校4年生の「総合的な学習の時間」で、チームみつやのメンバーによる災害についての講話と、被災地支援としてアシスト瓦（応急処置用の段ボール瓦）作りが行われました。



出来上がった約80枚の瓦は被災地へ送られました。

直接、被災地に行かなくても災害支援ができることを伝え、被災した小学校復興に役立てるベルマーク収集の取り組みも4年生と一緒に始めました。



淀川区まちづくりセンターの母体である一般財団法人大阪市コミュニティ協会「都市コミュニティ研究室（通称Cラボ）」の公式WEBサイトをご紹介します。

地域コミュニティづくり専門の研究室として、大阪市10区の地域と行政をつなぐ中間支援組織「まちづくりセンター」を運営し、地域自治の事例などを紹介しています。一度、のぞいてみてください!!



まちづくりCラボ

検索